

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

観光事業の取組と評価

「町田市観光コンベンション協会」の総会に出席しました。たまたま、自分が観光物産の会社に長く務めていたことで、この会員になったものです。*協会は企業や団体の会員が大半で、個人会員は数少ないものでした。役に付くわけでもなく、特に意見を述べるわけでもありませんが、町田市内の事業者、関係者の考えが分かって勉強になります。

この協会の年間収入は 1 億円以上になりますが、ほとんど町田市の負担金や事業委託金です。一般の観光都市の観光協会は旅館・ホテルの案内機能や土産品の宣伝 PR が主体ですが、町田市の場合はこの「観光コンベンション協会」の存在を知らせることが目的化しているように見受けました。以前に議会で質問したことがあります、「観光バス」事業を広げようとしていたことで、行政の補助金で成り立つ観光コンベンション協会の事業でそれを行なうのは民業圧迫ではないかと追及したものです。今は、一定の自粛が行われているように見受けます。今後も、協会は民間事業の支援が目的と言う原則から外れないように求めていきます。



新産業創造センター入居者を訪問時撮影

台東デザイナーズビレッジの 10 年の成果を鈴木淳村長に聞く

「台東デザイナーズビレッジ」という起業家支援施設を見学しました。もちろん、名称の通り、台東区が 2004 年開設したもので、10 年を越しました。川崎市（かわさき新産業創造センター：2003 年開設）や、町田市（創業支援センター 2013 年開設）と同様に起業家を支援するインキュベーター施設ですが、台東区に相応しくファッション・雑貨関係に特化していることが特徴でした。



責任者（村長）は公募で、多数の応募者の中から受託者に選ばれた鈴木淳氏（元カネボー・ユニバーサルファッション研究の先駆者）でした。当初は入居者を厳選する余裕がなかったそうですが、現況は競争率 10 倍で応募者の面接に時間をかけ、創業の意欲が高い人、地域で頑張れそうな人をピックアップしているとのことでした。出身者が施設の周囲に店を構えたり、事業を行っている例が数十件もあるのが特徴で、地場産業との交流ネットワークが見事に形成されていました。

町田市の「町田新創業支援センター」はどのような人材を輩出するのでしょうか？

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート③ 岡澤 優紀

今回のインターンシップは町田市の学校法人正和学園の町田自然幼稚園の竣工式へ行ってきました。町田自然幼稚園は高台に位置しその土地が広く、園自体が斜面となっています。そして自然に囲まれていて木々の間で子どもたちが遊べることを特徴としています。新しくできホールはお昼にはランチルームとなり、天井からの明りやユニークな窓の明かりによって暖かい感じがして、木のぬくもりを感じることができました。



町田自然幼稚園は 2015 年 4 月から「幼保連携型認定こども園」の認定を受け、それに向けての新校舎ができました。幼保連携型認定こども園とは、保育園の機能と幼稚園の機能の両方を合わせもつ、一つの施設のことを言います。幼稚園が保育としての役割も持つことで待機児童の解消や子どもたちにとって様々な年齢の友達と交流をすることができるというメリットがあります。幼保一元化にはメリットがある側面もちろんデメリットもあります。それでも、現在一番の問題である

待機児童が解消されることによって、女性の社会進出を助けることができます。また保育園と一体になることで国が補助金を出す義務がなくなり国の経済面でもメリットがあります。新しいことをするには様々な問題もでてきますが、この制度が広がっていくのではないのでしょうか。

明治大学 3 年生 岡澤 優紀 (第 36 期生)

..... <吉田つとむコメント>

岡澤 優紀さん (第 36 期生) は 3 回目のインターンでした。たまたま、幼稚園の新しい園舎が完成したことで、竣工式に出席しました。先方の理解を得て、インターン生の岡澤優紀さんを同行しました。岡澤さんにとって、少し前の記憶をたどっての、幼稚園見学のコースでした。この施設は新しい時代に向けて、幼稚園と保育園の融合を目指したものです。国の施策 (補助を含む) が決まらない内に工事を進めざるを得ない事情にあり、様々な苦労があったようですが、それぞれの皆さんの取組で 4 月 1 日のスタートができたとのことでした。実際には、これからも諸問題が発生するわけでしょうから、私もその発展に注目したいと思います。



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp